

IP網移行後の公衆電話の提供条件（案）

- IP網移行後の公衆電話は、メタルIP電話と同様の設備構成で提供。
 （公衆電話機・メタルケーブルはそのまま利用し、メタル収容装置に収容）
- 公衆電話通話料は、現在検討中。（県内通話・県間通話については、全国一律料金とする考え）
- 携帯電話への通話の課金に用いている事業者毎料金設定機能は廃止する考え。
 （一次答申を踏まえ、今後、発側[NTT東西]料金設定とする方向で関係事業者と協議していく考え）
- なお、災害時の早期通信手段確保のために災害時用公衆電話（特設公衆電話）の事前配備を進めており、IP網移行後はメタルIP電話により提供していく。

現状

距離段階		通話料※
県内通話	区域内	57.5秒 <40円>
	隣接・～20kmまで	40.5秒 <50円>
	20kmを超え30kmまで	27秒 <70円>
	30kmを超え40kmまで	22秒 <90円>
	40kmを超え60kmまで	16.5秒 <110円>
	60kmを超え80kmまで	12秒 <150円>
	80kmを超え100kmまで	10.5秒 <180円>
	100kmを超え160kmまで	8.5秒 <220円>
	160km超え	8秒 <230円>
県間通話	距離段階別料金 （NTTコミュニケーションズが設定）	
国際通話	国際電話事業者毎の対地別料金 （国際電話事業者が設定）	
携帯電話への通話	携帯電話事業者毎の料金 （携帯電話事業者が設定）	

IP網移行後

通話料
<p>検討中</p> <p>〔 県内・県間については、 全国一律料金とする考え 〕</p>
<p>発側（NTT東西）料金設定とする方向で 関係事業者と今後協議</p>

※ 10円あたりの通話時間（昼間の場合）。< >内は3分間通話した場合の料金。